

9月12日に開催した連合審査（総務常任委員会・福祉教育常任委員会）において、過日開催された議会報告会集約事項の当委員会所管事項2.「ストレスのないインターネット環境の構築」3.「学校の施設（エレベーター）や設備（上下移動の黒板・網戸）の整備」について、執行部（総務部・教育部）出席のもと、委員間で意見交換を行いましたので、報告します。

2. 「ストレスのないインターネット環境の構築」

委員から、インターネット環境がつながらなくて授業に支障をきたしているのか、またその原因を調査されているのか、という質疑が出ました。

それに対して執行部から、日常的にトラブルはあります。その都度、学校から教育総務課または学校教育課に連絡が入り、使用しているソフトについての場合業者のコールセンターにつないで対応してもらっています。すぐ回復することもありますし、時間がかかることもあるため、授業を行う教師はあらかじめ他の方法も用意して対応しています。また、原因調査は行っておらず、基本的に地域全体のインフラ整備が関係していると考えられます。国が設置している通信環境の目標ですと、500人規模の小学校で通信速度がおよそ500メガになりますが、本市の同規模校で、通信速度が68ぐらいしかありません。通信事業者も含めて国レベルで面的にスピード環境を整え地域全体のレベルを上げていただきたいというのが市の見解です。来年度、原因調査についての財源措置があると聞いているので、計画していきたいと考えています、との答弁がありました。

通信体力を節約する上でも、関係のないアプリを動かしているなどについて、制約、制限することは考えているのか、という質疑がありました。それに対し、一定、教育委員会としてのフィルターはかけています。それ以外にトップ画面でできるカードゲームなどについては、最後は教師の見届けが必要だと思いますし、あくまでも勉強に使う文房具としてのツールであるということを引き続き指導もして防いでいきたいと思います、との答弁がありました。

3. 「学校の施設（エレベーター）や設備（上下移動の黒板・網戸）の整備」

現在エレベーターがあるのは、小学校では石部、岩根、菩提寺北、下田、水戸の5校で、中学校では甲西中学校の1校です。児童生徒が使用するだけでなく、ユニバーサルデザインの視点から、保護者や来校者誰もが使って頂ける目的で設置しています。エレベーターはじめ上下移動の黒板など、大きな予算を伴いますので、大規模改修時に合わせて整備を進めてきました、という現状の説明があった後、委員から「上下黒板の必要性については議会報告会の折、中学生の実際

の学校生活から話が出てきた。上下黒板については、多額のお金を要するものではないので、計画的に進めてほしい」「各学校の立地条件なども含め、緊急性があるのか必要なものが変わることもあるので、現場の課題を把握して計画的に設置の方向に向けてほしい」「耐震という切り口で大規模改修の取り組みをしてきたところだが、費用がかかるからやめようではなくて、やらなければならないといったことに対してはお金がかかってもやっていくということも表してほしい」といった意見が出ました。

執行部から、大規模改修は財源確保という部分で自己財源だけでなく補助的な財源の確保、起債財源等も考えて、一体的に効率的に進めていきたいと考えます。また必要性があって緊急性があるものについては、毎年の予算の中から対応できるものがないかも検討していきたいと思います、といった説明がありました。